社協

「社会福祉協議会」は、みなさんの参加とささえあいで福祉のまちづくりをすすめる民間の福祉団体です

No.162 2020. 1. 1
奇数月１日発行

さむかわ

発行　社会福祉法人
寒川町社会福祉協議会
寒川町宮山 401 番地
寒川町健康管理センター内
電話 0467－７４－７６２１
FAX 0467－74－5716
ホームページ
http://www.t-samukawa.or.jp/~shakyo/
E メールアドレス shakyo@t-samukawa.or.jp

この広報紙は皆さまからお納めいただいた一般会費および賛助会費と共同募金配分金により作成・発行しています。

「令和」初めてのお正月
明けましておめでとうございます
皆さまと共に歩む、１年に

思いやりの心
社協が
つなぎます

昨年もいくつもの「思いやりの心」を形にし、地域の皆さまとふくしの町づくりを実現できるよう取り組んでまいりました。社協に相談して良かった、と思っていただけるように、これからも地域福祉を推進していきます。

あたたかい気持ち

令和元年10月11日～
令和元年12月12日

次の方々より町社協へ金品のご寄附をいただきました。地域福祉事業推進のために活用させていただきます。ありがとうございました。
～敬称は略させていただきます～

個人
・橋本　悦子
・匿名1名

団体
・寒川キリスト教会
・寒川町婦人会
・寒川ライオンズクラブ
　寒河江臥龍ライオンズクラブ
・公益社団法人神奈川県LPガス協会
　湘南支部　茅ヶ崎・寒川部会
・有限会社　寒川公衆衛生社
・公益社団法人神奈川県生活水保全協会
　湘南支部
・国際ソロプチミスト寒川

合計　277，389円

《賛助会費》

946，000円
（令和元年12月5日現在）

ボランティア活動事業をはじめとする町社協が行う地域福祉推進事業並びに福祉啓発事業に使わせていただきます。皆さまのご協力ありがとうございます。
※5月号の広報紙に令和元年度賛助会費をご納入いただいた皆さまをご紹介させていただく予定です。

自動販売機を設置しませんか？

自動販売機設置にご協力いただける企業様、個人の方を募集しています！休憩室や空きスペースの一角等の場所を提供していただき、自動販売機を置いていただけませんか？売上金の一部を社会福祉事業に活用させていただきます。地域貢献をお考えの皆さま、ぜひご検討ください。詳しくは総務担当までお問合せください。（連絡先は1面）

町社協では現在、町内公共施設に自動販売機を設置しております。また、災害や緊急事態などの停電時でも商品の供給が可能な「災害ベンダー機」を寒川総合図書館と町健康管理センターに置いております。

自動販売機の設置箇所のご紹介

＊寒川総合図書館　＊町民センター　＊南部文化福祉会館
＊北部文化福祉会館　＊さむかわ庭球場　＊町健康管理センター

社会福祉法人
寒川町社会福祉協議会
会長　髙橋　伸隆

令和初めての新年を皆様と共にお祝い申し上げます。干支も「子年」と十二支の新たなスタートになりました。昨年は御代代わりし、国内は祝賀ムードに沸いた一年でしたが、一方では異常気象の影響か台風が大型化し未曽有の災害をもたらしました。台風十五号に続き十九号が県内を通過し複数の社協が「災害ボランティアセンター」を立ち上げ復旧活動にあたりました。

当町では大きな被害はなかったものの城山ダムの放流により相模川等の越水危険から多くの方々が避難所に避難しました。幸い氾濫もなかったのですが、災害ボランティアセンターの立ち上げや避難所運営がいざ現実のものとなると見直すべき課題が多々顕著になりました。社協としての福祉活動も高齢者ケアだけでなく独居老人・高齢世帯・認知症者ケア・障がい者ケア等々私たちの果たすべき役割は増す一方ですが精力的に取り組んでまいります。そのためにはより多くの住民の方々のご支援・ご協力が不可欠であり、本年もどうぞよろしくお願い致します。

庚子（かのえね）の一年が皆様にとりまして幸多き年になりますようご祈念申し上げましてご挨拶といたします。

催し物・相談等のご案内

～行事のお知らせなどをまとめて掲載します～
※申し込み、お問い合わせ等、記載の無い場合は町社協へどうぞ。電話番号等は１面に記載しています。

紙おむつ代の一部を助成します ～１月は申請月です～

在宅の高齢者、障がい児者の方に紙おむつ代を助成します。
※申請できる方には基準があります。

男性ボランティアグループパワーズさむかわ主催 第18回男のクッキング教室

日　　時：1月30日(木)　午前10時～午後2時
(午前9時30分受付開始)
場　　所：町健康管理センター　2階　栄養実習室
対　　象：60歳以上の男性20名
メニュー：焼き小龍包、野菜スープ、その他
講　　師：寒川町食生活改善推進団体
費　　用：700円(材料費)当日徴収
持 ち 物：エプロン、バンダナ、ハンドタオル
申 込 み：1月10日(金)までに電話で
パワーズさむかわ竹内(74－8175)
またはボランティアセンター (72－3721)

大好評！みんなの健康セミナー開催 ☆体幹を整えよう☆

やさしいボディコンディショニング＆リンパケア
日　　時：1月8日・15日・22日(いずれも水曜日)
午前10時～11時30分
内　　容：リズム体操、体幹トレーニング、
ストレッチ＆リンパケア
参 加 費：1,000円(3回分)
講　　師：スマイリー健康クラブ
原田氏(健康運動指導士)、川城氏
☆詳細は、町社協へお問い合わせください。

車いすの貸し出しをしています ～一時的に使用したい、急に必要になった時にどうぞ～

対 象 者：町内在住で歩行困難な方
利 用 料：無料
申 込 み：電話か直接
貸出期間：1日～1ヶ月(理由により1ヶ月の延長可)
※詳細は、町社協へお問い合わせください。

求人！ 非常勤職員募集！！

地域福祉増進のために一緒に働きませんか。
詳細は本会ホームページをご覧ください

①ケアマネジャー

契約期間　2020年1月6日以降で随時
(※年度ごとの更新有り)
業務内容　・介護予防プランの作成
・独居高齢者訪問相談など
就業日数　週4日(週29時間)
就業時間　午前8時30分～午後5時15分
(内60分は休憩時間)
就業場所　寒川町地域包括支援センター
(寒川町役場1階)
要 資 格　ケアマネジャー
賃 金 等　本会規定による
諸手当あり

②一般事務

契約期間　2020年1月6日以降で随時
(※年度ごとの更新有り)
業務内容　社会福祉協議会　地域福祉担当の事務
(広報・啓発、助成事業等)
就業日数　月12～14日程度
就業時間　午前8時30分～午後5時15分(内60分は休憩時間)
就業場所　寒川町健康管理センター1階
応募資格　次の全てに該当する人
・社会福祉に関心のある人
・パソコン事務のできる人(Word、Excel等)
・要普通自動車免許
賃 金 等　本会規定による

応募方法
履歴書(①は資格証の写しも)を持参又は郵送してください
(郵送先は1面にあります)
※面接日時は応募者に追ってご連絡します

気軽にご利用ください

心配ごと相談

誰に話せばいいのか分からない、ひとりで抱えて苦しい。まずはお話を聞かせてください。

対　象　どなたでも
場　所　町健康管理センター
※訪問対応も可能です。
問合せ　町社協(連絡先1面)

平日　午前8時30分～
午後5時15分

成年後見相談

判断能力が不十分、障がいの子どもの親亡きあと、認知症の家族等、心配…。

対　象　どなたでも
場　所　町健康管理センター
※前日までに要予約。
1人1時間まで。
問合せ　町社協(連絡先1面)

1月10日(金) 午後1時～
2月　7日(金) 午後1時～

子育てサロン

季節にちなんだ工作や歌などボランティアさんが楽しい企画をしています。

対　象　町内在住の2、3歳のお子さんと保護者
参加費　対象児1人につき100円
場　所　町健康管理センター
※申込不要！対象年齢であればいつでもどうぞ！
問合せ　町社協ボランティアセンター
(連絡先4面)

1月22日(水) お正月あそび
2月　5日(水) 豆まき・ひな飾り作り
時間はいずれも午前10時～11時30分

ボランティアセンターからこんにちは！～拡大版～

ボランティアしたい！頼みたい！を応援します

ボランティアセンターではボランティア活動を応援するイベントや研修会を開催しています。

11月2日（土）障がい児・者サロン

障がい児・者とその家族を対象としたボウリング大会を行いました。今年はレーンごとに順位を競い、ボランティアの方にはレーンのリーダーとしてみなさんを引っ張っていただきました。笑顔の絶えない、楽しいサロンとなりました。

11月8日（金）ボランティア連絡協議会 研修会

前半は映画「ケアニン」を鑑賞しました。認知症介護や老人ホームについて考える、とても良い機会となりました。後半は車椅子ダンスで「2020新東京五輪音頭」をみんなで手を取り合いながら挑戦し、会員同士の交流も深まりました。

11月25日（月）おもちゃ病院ひろば

おもちゃ病院の中に、お子さん向けのひろば（フリースペース）を併設し、おもちゃの修理の様子を見ながら自由に遊べる場所をつくりました。おもちゃの修理に興味のある大人の方にも参加していただきました。おもちゃの修理は随時受付中です！

11月27日（水）ボランティア交流会

個人で活動しているボランティアの方を対象にした交流会を開催しました。今年は“カントリーダンス”で体を動かしたあと、お茶を飲みながらのフリートークで情報交換。「シニアげんきポイント」の活動者の方も一緒に、交流を行いました。

12月4日（水）子育てサロン【クリスマス会】

クリスマスのリースを作って、歌を歌っていると…サンタさんが来てプレゼントを配ってくれました！プレゼントの中身は何が入っていたかな？来月もぜひ遊びに来てください（1月、2月の予定表は3面です）。

寒川町社協ボランティアセンター
電　話 0467-72-3721　FAX 0467-72-0277
メール vc3721@t-samukawa.or.jp
ツイッターやってます。
〒253-0106 寒川町宮山401 町健康管理センター 3階

ボランティアラビットの「ぼらぴちゃん」

こんにちは、地域包括支援センターです

高齢者のみなさまの相談窓口です

電話 0467-72-1294　FAX 0467-72-5552
〒253-0106　寒川町宮山165　町役場1階

★認知症高齢者介護教室★

11月15・22・28日の3日間の日程で認知症高齢者介護教室を開催しました。

認知症の基礎的な知識を学んだあと、グループになって事例を元に学びを深めたり、認知症に関わる方々からのお話を聞くといった内容でした。

たくさんの方にご参加頂き、最終日には寒川町役場高齢介護課より修了証の授与式も行われました。認知症になっても安心な町を作るのは、地域にいる一人ひとりのお力だと思います。皆さん熱心に参加して頂き、私も勇気づけられた、温かい教室となりました。皆さまありがとうございました。

今年は受けられなかった！という方、来年も開催していきますのでどうかよろしくお願い致します。

認知症地域支援推進員　髙橋愛美

編集後記　デンマークには「ヒュッゲ」という言葉があります。くつろげる心地よい時間を作り出すことによって生まれる幸福感や充実感、そして暮らしを楽しむ姿勢という意味だそうです。今年が皆様にとってヒュッゲに包まれますように。

特集　福祉大会と福祉作文

第36回 寒川町社会福祉協議会福祉大会

昨年11月9日（土）に福祉大会を開催いたしました。来場者223名という盛会の中、第1部の表彰式では、地域福祉活動への貢献や福祉作文の優秀作文発表など、本会から感謝を伝える場となりました。第2部は北村仁氏と教室の生徒さんによる手話を取り入れたUDダンスを披露していただき、北村氏からの呼びかけに来場者も手話で応えるなど、会場が一体となり大いに盛り上がりました。ここでは受賞された方々をご紹介します。

（順不同・敬称略）

社会福祉功労者の表彰・感謝

1　表彰

◇社会福祉功労者

鈴木純、祖父江まゆみ、田中秀昭、中根守、西川宣夫、和田山良子

◇在宅高齢者介護者

岩瀬正明、安齋幸生子、菅泉潔、米本美智代、金子三郎

2　感謝

◇多額寄附者

寒川町肢体不自由児者父母の会、河西工業福祉協議会、寒川ライオンズクラブ・寒河江臥龍ライオンズクラブ、寒川町民生委員児童委員協議会、公益社団法人藤沢法人会、元井出歯科医院　患者さん有志、社団法人神奈川県エルピーガス協会湘南支部　茅ヶ崎・寒川部会、ユーコープ湘南3エリア茅ヶ崎市民ふれあいまつり実行委員会、旭ファイバーグラス労働組合、創陶会、寒川キリスト教会

3　神奈川県社会福祉協議会会長表彰（伝達）

善永智子、志田育子、木藤剛、大谷みよ子、鈴木一哉、鈴木みさ子

4　神奈川県共同募金会会長感謝（伝達）

升水道弘、佐藤勲

5　神奈川県社会福祉大会受賞者（報告）

鈴木健吾、石塚美智子、古谷清美、入澤美由紀、金子奈美、藤間ひとみ

6　福祉作文優秀作品

◇小学生の部

石塚大空、木村弘輝、佐藤快翔、戸練千晴、船倉小音葉、関屋煌雅、對馬ひより、今井菜優、小林琉也、渡辺理夢、岡村和明、白水みらん、飯田慎、小林陽葵、田巻康士郎、中井晴天、古川樹莉亜、菊地奏良、寺澤音羽、大木結愛

◇中学生の部

井上遼海、栗田奏海、笹生葵、中村暢佑、成富咲輝、深澤心華、吉仲珠里、米山幸妃、永澤珠莉、山﨑優果

福祉作文について

今年も「寒川町福祉作文コンクール」を実施し、たくさんの作文をご応募いただきました。小学生の部381編、中学生の部121編の応募作品から、小学生の部20編、中学生の部10編を優秀作品として選ばせていただきました。次のページからその一部をご紹介します。

※すべての優秀作品を「福祉作文集」としてまとめ、町健康管理センターにてお配

りしています。是非、ひとりでも多くの方にお読みいただければ幸いです。

※優秀作品の中から数編を「神奈川県福祉作文コンクール」に応募したところ、次の2名の方が受賞されました。おめでとうございます。

小学生の部　**準優秀賞**
小谷小学校6年　菊地奏良さん
「みんなが暮らしやすい社会を目ざして」

中学生の部　**最優秀賞**　**神奈川県教育長賞**
旭が丘中学校3年　笹生葵さん
「苺がくれたプレゼント」

小学生の部

不自由でもみんなと一緒

旭小学校六年　白水　みらん

先日、私が通っている学校に、視覚障害者の方が私達六年生に視覚障害の大変さや気持ちを伝えるために来てくれました。そこで私は驚いた事がありました。

まず、目が見えないのに料理をするのが得意とおっしゃっていた事です。「火傷しないかな。」「調味料は間違えないのかな。」「指を切らないかな。」など、不安な感情も出てきたからです。火の取り扱いも間違えると危険だからです。他にその人は卓球やパソコンをするのが得意と言っていて、今の時代、技術が進歩しているので不自由な人でも色々楽しめるなと感心しました。色々な便利な道具がどんどん開発されていると聞き、嬉しくなりました。なぜならみんなが平等に楽しめるからです。

学校に、その方が来た時に「アイマスク体験」をしました。2人ペアでアイマスクをして障害物をよけて相手を誘導する体験で、前が見えないと言うのは怖くて心臓がバクバクでした。ヘルパーさんは居なくてはならない存在だと気付きました。犬の散歩をしていた時信号をゆっくり渡っている視覚障害者の方の邪魔にならないようにはじに寄って一回信号を渡らないで待ちました。少しはその人の手助けが出来たと思いました。けれどその人が信号を渡り終えた時に犬がその方に吠えてしまってその方は少し驚いた様子で私はすごく後悔しました。もっとはじに寄ったりすればと。

今までの経験を生かして、将来ヘルパーさんや不自由な人達にみんなと平等に暮らせる道具などを作る人になりたいです。「目が見えないから出来ない。」なんて違うと知りました。これから周りを気にして、困っている人が居たらお年よりでも誰にでも、必要に応じて助けられる人になりたいです。

（町福祉大会発表作文）

みんなのやさしさで支える福祉

小谷小学校四年　田巻　康士郎

ぼくはひいおばあちゃんの家に行くとまず向かう場所があります。それはひいおばあちゃんのベッドです。ぼくはそこでお話をしたり、オセロをしたりして遊ぶことが大好きです。ひいおばあちゃんは八十九才で足が不自由なのです。そんなひいおばあちゃんが生活している家をよく見てみると、様々な工夫

を見るけることができました。

一つ目の工夫は階段に昇降機がついていることです。階段を上ったり、下りたりする時に大変で危険なので取り付けられています。

二つ目の工夫は玄関に石のブロックが置かれていることです。なぜかというと、足が不自由だと足を下ろしたり、靴をはいたりすることも難しいからです。

三つ目の工夫は廊下が普通の家よりも広く、手すりが付いていることです。廊下が広いと車いすや押し車が通りやすくなります。

このように、普段は意識していない福祉について考えたことで、新たな発見をし、ひいおばあちゃんのことをまわりの家族がやさしく支えていることに気が付きました。

ぼくもひいおばあちゃんと出かける時に、手すりのないところでは手をつないだり、先回りしてドアを開けておいたりしています。これからも自分にできることをどんどんしていきたいと思いました。

また、ひいおばあちゃんは、昼間デイサービスに行っているそうです。そこではお風呂に入れてもらったり、まわりの人とおしゃべりやカラオケをしたりして楽しんでいるとひいおばあちゃんはうれしそうに教えてくれました。ぼくはそのことを知って、家族だけではなく、社会全体で高齢者の方を支えんしているのだと思いました。ぼくも社会の一員としてひいおばあちゃんだけではなく、困っている人の力になりたいと思いました。

中学生の部

苺がくれたプレゼント

旭が丘中学校三年　笹生　葵

私が生後一ヶ月頃のこと。母がある変化に気がついた。表面が苺のように赤く、つぶつぶした感じにもり上がっている物が頭に三つあることに。それは、苺状血管腫というものだった。三つのコブはどんどん大きくなっていった。生後五ヶ月頃には、直径二～三センチ程の真っ赤なコブとなっていて、小さな頭に三つのコブはとても目立っていたそうだ。母は私のコブを人に見られたくないため、それらを隠す帽子を用意した。外出する時には私に帽子をかぶせたが、私が嫌がって取ってしまうことがよくあった。三つのコブを見た人は必ず驚く。そのあと、母や私にどう声をかけたらよいのかわからず無言になる。または、かわいそうね、どうしたの？と、私ではなくコブに興味津々になる。母は、どんな人にも笑顔で対応したが、心では泣きそうな時もあり、私が簡単にとれない帽子は、外出の必需品となった。

しかし、ある日の病院の外来をきっかけに母の思いが変わった。待合室で、4～5才程の女の子が私に近づいてきて私の頭をなでた。その時に帽子がとれて、三つのコブが現になった。母はハッとした。すると女の子は私のコブをツンツンと触り、ニコニコしながら「これ、かーいーね（かわいいね）イチゴ。」と言った。母は、女の子のかわいらしい様子と、ツンツンされてニコニコしている私を見て、思わず笑ってしまい、女の子に「ありがとう。」と伝えると、涙が出てしまった。女の子のママは慌てて「すみません」と母に伝えると、女の子の方をむいて話し始めた。

「○○ちゃん、この苺ちゃんは、赤ちゃんの大事な苺ちゃん。沢山の幸せをプレゼントするために神様が空から見つけやすいように印をつけてくれたの。触ってはいけません。」と。それを聞いていた母は、目の前が明るくなるのを感じた。女の子のママは、女の子に発達の遅れがあること、それを知ったママはショックだったこと、でもおかげで今まで知らなかった障がい者や家族の思いを知ることができてよかったと思っていることなどを話してくれたそうだ。この日から、帽子は外出の必需品ではなくなった。

あの日から今日まで、街中や施設ではバリアフリー化が進み、母がベビーカーと私を抱えて階段を上り下りした駅にもエレベーターができた。二〇一六年には、障害者差別解消法が施行され、ハード面はよくなっているように感じる。しかし、健常者と障がい者の間の心のバリアフリーは、まだまだだと感じる。参議院に当選された二人の重度障がい者への

冷たいコメントや、車いすの人を入店拒否するなど、障がい者の方々は世間の心ない反応に、今もなお日常的にさらされている。きっと母は、そんな現状に娘をつれ出して悲しい思いや切ない思いを感じたくないから、私の苺を隠していたのだろう。そんな母にとって病院で出会った親子の言葉は本当に嬉しかったと思う。私は、あの親子が様々な人と関わって色々感じてきたからこそ、母の抱えていた痛みも感じとって下さったのだと思う。多くの健常者が障がい者と当たり前のように接する機会も少なく、理解を深めていないから心のバリアフリー化に時間がかかっていると私は思う。

インド独立の父、ガンジーの言葉に、

「世界でおこってほしいと思う変化に、あなたがなることです。」

とある。母の心を明るくして下さった親子のように、私も誰かの心を明るくしてあげられる人になりたい。そんな優しさの輪が広がっていけば、障がい者がありのままに安心して生きていけるような社会になると思う。

あの時の私の苺は消えたが、苺は、私の心にバリアフリーという素敵な幸福のプレゼントをくれた。

（町福祉大会発表作文）

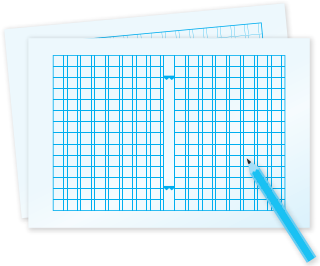
思いやり

旭が丘中学校三年　井上　遼海

最近、公民の授業で基本的人権について考えたり、広島に行って平和について学んだりすることがありました。私はどの場面でも一貫して「相手を思う気持ちがあればいいのに」という意見を持っていました。それは福祉にも共通して言えることだと思います。つまり、みんなの幸せに思いやりの心は不可欠だと考えます。

なぜなら、福祉の考え方において、誰かが非常に得をして、誰かが非常に損をするような形ではいけないからです。思いやりを持つことで相手の身になって考えられ、全体としてプラスの行動ができるのだと思います。

先日、電車に乗っていた時、私の近くに小さい子と、その子の母親がいました。その母親は、小さい子の世話と同時に、荷物とベビーカーの管理もあり大変そうでした。電車がとある駅についた時、その親子が動きました。私は、その親子が下車するのだろうと思いました。すると、近くにいた男性が私と同じように思ったらしく、ベビーカーを下ろそうとしました。その男性は、大変そうな母親を思いやって行動したのだと思います。その光景を見ていて、どこかあたたかさを私は感じました。また、その男性に対してカッコイイと思いました。

思いやりを持った行動をするには、多少の我慢が必要なことがあります。なので、その我慢に対してマイナスの感情が生まれて、結局何も行動しないということになる場合があります。ですが、そんな時こそ相手の身になって考え、勇気を持って行動することが大切だと思います。

現在、とても科学が進歩していて、人の仕事もロボットや人工知能ができるようになると言われています。ですが、そのロボットや人工知能がその場で、相手の感情を認識して思いやりのある行動をするのは、難しいと思います。つまり、思いやりの心は人間のみが持つ力なのだと私は考えます。人間は、その力をつかって人間らしいぬくもりを作っているのではないでしょうか。そして、そのぬくもりがみんなの幸せ、すなわち、福祉を作っていくのだと思います。私は、人と人とがお互いに思いやりを持って支え合い生きていくことのできるような社会を目指していこうと思います。